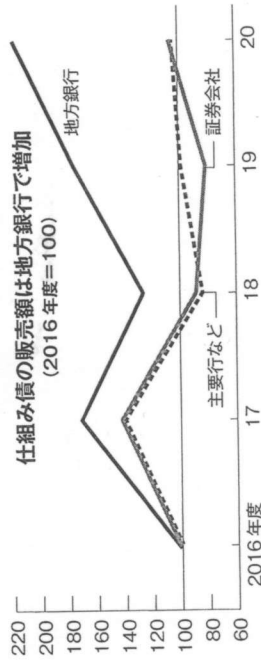


地銀が売りまくった 「仕組み債」(ノックイン債) の爆弾が破裂する

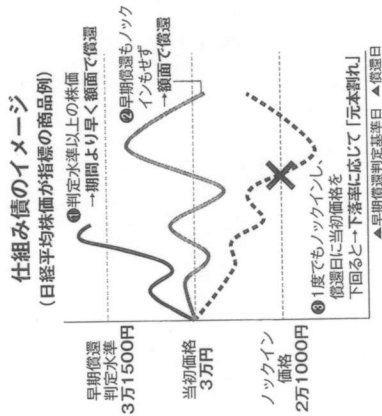


(注) 金融庁資料を基に作成
出所 日本経済新聞 2022年1月31日、2月7日

仕組み債の販売が特に増えているのは地方銀行。地方経済の停滞で収益環境が悪化するなかで、売れば大きな収益になる仕組み債を顧客に販売している。

日経平均
2万1,000円
割れで全額が
吹き飛ばす

もうヒヤヒヤ



日銀の自己資本金その他は、9兆円しかありません。だから、540兆円の国債の残高があつて、それに対して当座預金があるから、国債金利が0.3%まで上がったなら日銀はデフォルトします。

市中金利は今0.2%強ですが、あと0.1%動いたら、日銀がデフォルトするところまで来ている。だから、日銀はこれ以上国債を買いたくても買えなくなっている。なぜなら、割高で買わなければいけない。それなのに、その原資がないから、国債を売却しないといけなくなる。ところが国債を売却したら、国債金利が上がってしまう。だから、売らたくても売れないのです。